

# シンポジウム・共済と日本社会の未来

## 共済理念・理論の再確認と新たな発展方向

比較的長い歴史をもつ協同組合共済にしても、比較的新しく登場した「非営利・協同の自主共済」にしても、その理念・理論の再確認と新たな展開をしなければならない状況にあるのではないか？

内外保険業界の圧力を背景に、保険業法および協同組合諸法が改定され、共済事業に対する規制が強化されました。その結果、協同組合共済は保険会社とイコールフットイングで競争にたたされ、これまでも指摘されてきた保険会社（営利保険）への接近がますます進む条件ができつつあります。また「非営利・協同の自主共済」は、存亡の危機に立たされ、保険業法適用除外を求める運動にいつそう幅広い支持を求めています。こうした事態に、共済事業の今日的意義を問い、共済運動の理念・理論の再確認と新たな展開をはかるために、各分野の共済事業にたずさわる人びとが経験を交流し、意見を交換することによって問題意識を共有し、参加者それぞれが問題を考えるきっかけを得る場を作ろうとこのシンポジウムを計画しました。有志多数の参加を期待しています。

主 催 共済研究会

日 時 11月17日（土）14時～17時

会 場 明治大学 リバティータワー14F 1146号室

テーマ 共済理念・理論の再確認と新たな発展方向

プログラム

基調講演 「共済とシチズンシップ」 中川雄一郎 明治大学教授

パネルディスカッション - パネリストの報告、フロアからの発言と討論

コーディネーター	押尾直志	明治大学教授
パネリスト	本間照光	青山学院大学教授
	若松仁嗣	全共連制度対策部制度調査グループ課長
	小塚和行	日生協共済センターリスク管理部長
	斉藤義孝	日本勤労者山岳連盟理事長
	竹崎三立	全国保険医団体連合会副会長

参加費 1,000円

参加申込の方法 E-mail [CZU00146@nifty.com](mailto:CZU00146@nifty.com)  
郵 送 101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学商学部 押尾直志研究室内 シンポ係